

the Quintessence Volume 7 No. 6 別刷 1988年6月10日発行

Daryl Beach

Comments in a nutshell

2

HPI(ヒューマン・パフォーマンス研究所)

連絡先：静岡県熱海市田原本町9-1熱海第一ビル

QUESTION

最近、歯科医療においても「治療から予防へ」と強調点が移されてきています。われわれ開業歯科医もプライマリー・ケアの重要性は認識しているつもりなのですが、日常の診療においては来院する患者の治療にあけくれているのが現実です。われわれ開業医にとって、診療の中に予防を取り込むための鍵となる要素は何ですか？(Dr. Matsuoka)

COMMENT

歯科診療に体系的に予防を取り込むための第一の鍵は、少なくとも1名の専従の予防スペシャリスト(たとえば歯科衛生士)を置くとともに、歯科医院の中に予防専用の空間を設けることです。予防専用の空間は、セルフケアについて説明や演習を行うエリアと、予防処置を行うためのエリアとに分けるべきです。セルフケアの説明や演習のためのエリアが5.04m²(2.4×2.1)、予防処置のためのエリアが6.93m²(3.3×2.1)、合計して最低12m²が必要です。この予防専用の空間は、すべての患者が毎回来院するたびに使用したり、その横を治療を受ける度に通過するように、歯科医院の入口と治療エリアとの間に配置します。

2名以上の歯科医と1名以上の予防スペシャリストがチームとなって診療している歯科医院は、予防と治療の両方を網羅した包括的な歯科医療を最も効果的に提供できます。このため、私は個人開業でも歯科医数が2名以上の方が、単独診療より、成功する可能性も高く、患者にとって価値が高いと信じています。

第二の鍵は、患者に初診時からすぐに予防と治療の相関関係について説明することです。そこで私は下記の言葉を適当な大きさの額に入れて、ディスカッション・エリアまたは受け付けエリアに掲げておくように提案したいと思います。(すべての歯科医がディスカッション・エリアを持つべきです)。

私たちの治療目的

- 口腔衛生の確立と維持
- 組織抵抗の維持または増強
- 口腔内の望ましい力関係の確立と維持
- 口腔の外観の改善または維持

1959 D. Beach

ここでいう「衛生」とは「好ましくない組織反応を起こす物質が存在しない状態」を意味します。

また「好ましい力」とは「正常な位置にある歯牙の長軸に対して、平行に加わるような力」をいいます。

痛みの予防、除去やコントロールは、上記の治療目的に関連しています。

私は1959年に歯学部对学生に対するオリエンテーションとしてこれらの治療目的を初めて提唱したのですが、やがて患者の理解を得る上でも非常に便利な分類だということが判りました。壁にこれらの治療目的を掲示しておけば、患者とのディスカッションの間に引用し、治療がなぜ口腔の健康状態に影響を及ぼすのかという理由を理解してもらうことができます。

第三の鍵は、診査や治療終了時に、患者が口の中の状態を詳しく観察するための簡潔なデザインの特別なマウス・ミラーを使用することです。セルフケアや予防治療が必要な理由を示す所見も含めて、診査終了時に歯科医が記録したすべての所見を患者に説明し、ミラーで確認してもらいます。

予防と治療の連携があつてこそ、患者との良好な関係を長期にわたって維持することができるのです。

QUESTION

歯科医にとって、診療にコンピュータを導入することの主要な利点は何ですか？(Dr. Osawa)

COMMENT

現在、歯科医院の中にあるコンピュータの大半は、まだ歯科医のおもちゃの域をでず、診療環境において物理的にじゃまになったり、気が散るものになっていると思います。コンピュータの大きなキーボードやCRTは患者のための空間配置に適合するものではなく、歯科医院にとって最も重要な空間—人(医療従事者)と人(受療者)の出会いの場—を混雑させていることが往々にしてあります。また現在コンピュータはほとんどの場合、保険請求事務や財政管理のために使用されています。

コンピュータの主要な利点は、将来への展望を持ち、患者の立場に立って考えれば、最も良く認

識することができます。現在、患者は自分の口の問題について情報を得るのに、歯科医に依存していますが、多くの人びとは、もし提供されれば、第二の情報源も得ることを希望するでしょう。

コンピュータは、患者の口の問題やその治療に関する情報を、直接患者に提供することができます。これには、治療のさまざまな選択肢とそれらの利点や関連するリスク、選択肢の中で歯科医として勧める治療内容(recommendations)、ならびにアポイントメントの回数と所要時間、コストなどの情報が含まれます。換言すると、優れたコンピュータ情報管理システムは、より包括的な情報を、検討しやすい形で患者に提供できます。

私たちは、以下の情報軸を中心としたソフトウェアを実施するための準備を進めています：

- 解剖学的部位(歯牙番号を含む)
- 口腔の健康状態(診査記録)
- 治療(治療計画の記録と完了録)
- 時間(分単位から10年単位まで)
- 身分証明(ID)(患者、医療従事者、医院)
- 患者の個人的情報(住所、電話番号、職業、既往症の有無などを含む)
- 収支(保険請求業務を含む経営管理)

健康を志向した概念は、将来も変化しない恒久的な情報処理の基盤として、極めて重要です。

私は、このようなソフトウェアの導入は、将来患者が歯科医院を選択する場合の、主要要素になるのではないかと思います。コンピュータによる包括的な情報を提供する歯科医は、第二の情報ルートを希望する多くの患者を引きつけることになるでしょう。将来は歯科情報ネットワークがいくつか発達し、大勢の人びとはこのネットワークの中から歯科医を選択するようになるでしょう。またネットワーク加盟の歯科医には、非加盟の歯科医よりも多数の患者が来院するようになるでしょうし、ストレスの少ない状態で診療をおこなうことができ、歯科医療そのものに対して深い興味を持つようになることでしょう。(文責 三明)